

公開講演会・研修講座 講師の先生方のご著書紹介



講演・講座前の予習として事前に読んだり，終了後にゆっくりと手にとりながら講義を振り返ったり，学んだことを整理することで，より役に立つ知識・技法につながると思われま

📖 明橋 大二先生（真生会富山病院心療内科部長）

「子育てハッピーアドバイス」シリーズ（1万年堂出版）は累計500万部を超える大ベストセラーとなっています。その他，多数のご著書が出版されています。

「ひといちばい敏感な子 ー子どもたちは，パレットに並んだ絵の具のように，さまざまな個性を持っている」（1万年堂出版，2015年）

「ひといちばい敏感な子」（青春出版社，2021年）

上記の「ひといちばい敏感な子」（1万年堂出版，2015年）を一部改訂，加筆した本です。

「HSCの子育てハッピーアドバイス」（1万年堂出版，2018年）

「教えて，明橋先生！何かほかの子と違う？ HSCの育て方Q&A」（1万年堂出版，2019年）

「見逃さないで！子どもの心のSOS 思春期にがんばってる子」（1万年堂出版，2013年）

「Dr. 明橋の生きるのが楽になる たったひとつの言葉」（主婦と生活社，2013年）

📖 三原 聡子先生（独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 主任心理療法士）

「アディクションサイエンス ー依存・嗜癖の科学ー」（分担執筆，朝倉書店，2019年）

第3部 依存・嗜癖問題の諸相 17 インターネット

アルコール健康障害対策基本法の制定やIR推進法案の可決等により，社会的関心が高まっている依存症・嗜癖（アディクション）について，基礎研究の最前線の姿を伝えるとともに臨床実践のあるべき姿を探っています。（朝倉書店HPより）

📖 佐々木 掌子先生（明治大学文学部心理社会学科臨床心理学専攻 准教授）

「トランスジェンダーの心理学 ー多様な性同一性の発達メカニズムと形成ー」

（晃洋書房，2017年）

なぜみずからの性別に違和感をいだくのか？どのようにして，割り当てられた性別とは異なる性同一性を形成していくのか？「ある性別として生きる」とはどういうことなのか考えてみたい，すべての人における一冊となっています。（晃洋書房HPより）

📖 米澤 好史先生（和歌山大学教育学部 教授）

◆愛着障害の理解を基本を押さえない場合は，
「やさしくわかる！愛着障害」（ほんの森出版，2018年）

◆事例を通して学びたい場合は，
「事例でわかる！愛着障害 現場で活かせる理論と支援を」（ほんの森出版，2020年）

◆現場でのアセスメントや具体的支援や，現場で支援のコーディネートをしている場合は，
「愛着障害・愛着の問題を抱える子どもをどう理解し，どう支援するか アセスメントと具体的支援のポイント51」（福村出版，2019年）が役立つと思います。（藤谷 淳一（本会理事）

その他，エピソード漫画を交えた「子育てはピンチがチャンス！ 乳幼児期のこどもの発達と愛着形成」（福村出版，2021年）など多数あります。



“愛するためには，
知識と努力が必要である”
（フロム）

編・集・後・記

秋田県カウンセラー協会が初めて行った全国大会はオンライン運営のインパクト様のサポートを得て盛會に終わりました。初めてのオンライン大会ということで始める前はあれこれ心配しましたが，大きな問題もなく，運営ができました。今回の出来事はオンライン大会だからこそ全国の人たちがつながり，よりよいものを作り上げることができるといふ一つの例を提示することになったと思います。対面での開催が最もよいことですが，対面だけでなくオンラインも活用すればさらに可能性は広がります。自分たちだけでできなければ専門家の力を借りる。「使えるものは使え」國分康孝先生の声が聞こえてきそうです。これからもますます発展しそうな予感がする大会でした。運営に関わった方々，大会に参加された方々，大変お疲れ様でした。（N.Y）

